雑木林通信

NO.201／2024.1.25
島熊山の雑木林を守る会
〒560-0001 豊中市北緑丘 3-1-30-101
TEL/FAX　06(6849)2435

2024 年　スタート！

2024 年が始まりました。能登半島地震とともに幕を開けた本年、天変地異に翻弄される人間社会の脆弱さを改めて思い知りました。輪島の知人が倒壊した家の中から救い出されたものの、あごの骨が折れ人院生活を余儀なくされていると言う。白米千枚田の活動をしていると聞いていたが、1004 枚ある海岸沿いの美しい棚田はひび割れ、今年の作付けは無理らしい。市街地の激しい損壊は報道されていますが、山や谷、田畑、水辺なども今後被害の実態が明らかになってくると思います。被害に遭われた方々はもちろん、そこに生きる動植物達も大丈夫だろうかと案じられます。

豊中でも震度 4 の揺れだったので、特養ホーム後ろの地滑り地帯への影響を心配していました。1 月 21 日の清掃ハイク時の測定でこれまでと変動がなかったのでひと安心しました。

今年の総会は 1 月 14 日午後 2 時からくらしかんにて行われました。出席は 18 人、米虫議長を選任後、2023 年度の活動報告から始まりました。各班の報告では、雨天が続き 3 ヶ月間森の手入れが中断したりしたものの、全体として島熊山の保全活動は計画通り進められました。西丘小学校 3 年生の「島熊山観察会」は地元小学生との長年にわたる交流で、昨年の観察会も好評でした。特筆すべきは、画期的なポスターによる会員募集で、昨年は 6 人もの新メンバーが仲間に入られたことです。島熊山の生き物に親しみ学びながら保全をする会の理念の下、知恵を出し合って、共に汗を流したいと思います。

次に新年度の活動方針案です。事務局メンバーは新しい方が加わり次のようになりました。代表－易、副代表－米虫一男、森の手入れ－土田明、清掃ハイク－山口圭一（新）、トンボ池－土田泰子、ナラ枯れ－土田泰子、モニ 1000－熊代直生、遠くを見て近くを知る－横山智恵子、編集－小泉清・高橋由美子・北田勝章（新）、会計－西川恭子（敬称略）です。宜しくお願い致します。林内の枯れマツ・倒木等の処理や用具入れの設置など市と相談しながら進める内容もありますが、今年も怪我なく、無理し過ぎず、楽しく進めて参りましょう！

場所を変えての新年会。たくさんの皆様の美味しい差し入れも加わって一段と賑やかな会となりました。お話を聞く中で、山遊びや自然を楽しむ術を知ったメンバーが集まった気安さ心強さも感じられる得難い時間でもありました。（易　信子）

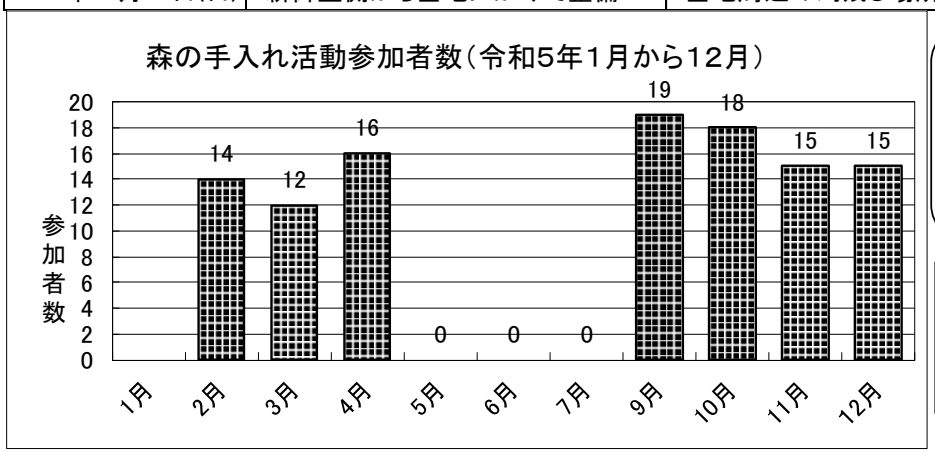
1 森の手入れ班　土田 明

『森の手入れ班』2023年　活動報告書

1. 森の手入れの活動と参加人数

(1) 第2日曜日の午前中（10時から12時30分）で活動した。活動回数は定例月7回と若竹伐採3回となった。
(2) 活動の参加者総数は、定例月は、7回で109名と昨年より22名減となった。（昨年は131名）
(3) 定例月の活動平均参加人数は、昨年より1名増加し15．6名となった。

作業日	作業内容	備考
2023年1月8日(日)	・「島熊山の雑木林を守る会」総会	・「2022年」活動報告と「2023年」活動計画
2023年2月12日(日)	・観察路（特老ホーム奥の葛刈）	・特老ホーム奥の観察路周辺の葛の刈込整備
2023年3月12日(日)	・基地から新御堂側 奥の院まで	・新御堂側の折れた竹・枯れた竹の伐採整備
2023年4月2日(日)	・竹林整備（若竹伐採）	・若竹伐採(午前中作業)
2023年4月9日(日)	・基地から新御堂側 奥の院まで	・新御堂側竹林内のササ刈り、若竹伐採
2023年4月23日(日)	・竹林整備（若竹伐採）	・若竹伐採(午前中作業)
2023年4月30日(日)	・竹林整備（若竹伐採）	・若竹伐採(午前中作業)
2023年5月14日(日)	・雨天により活動中止	・活動中止
2023年6月11日(日)	・雨天により活動中止	・活動中止
2023年7月9日(日)	・雨天により活動中止	・活動中止
2023年9月10日(日)	・観察路整備（基地から黒松林）	・観察路（基地から黒松林）の小木間伐・ササ刈り整備
2023年10月8日(日)	・観察路整備（観察会対応）	・ササ刈りと雑木整備による観察路整備（観察会対応）
2023年11月12日(日)	・御堂筋側から基地に向け林内整備	・観察路（箕面市境界の竹伐採、ササ刈り、雑木整理）
2023年12月10日(日)	・新御堂側から基地にかけて整備	・基地周辺の刈残し場所の整備（雑木・笹・ススキ）



【参加人数総計】

森の手入れ：109名

(注)参加人数は島熊山雑木林を守る会HPから引用

【若竹伐採】
4月に3回活動（2日9名、23日10名、30日6名）で25名が参加した。

2. 活動内容の報告

◆活動回数は、雨天中止が3回（中止3回は多い！）あり7回となった。屋外活動でありマスク着用は自己判断でお願いした。作業時の声掛けと相互距離の確保をお願いした。ポスターの効果等で新たな参加者が増え、参加者数は、12名から19名（平均15．6名）と、平均で昨年より1名増となった。

活動回数減により、雑木林整備が進んでいない。新御堂筋から箕面市境界では、竹の勢力拡大箇所が残っている。特老ホーム裏の崖崩れ箇所を中心に、葛刈りを精力的に実施したが、葛の一掃には至っていない。

観察路・散策路は、西丘小学校観察会の時期に対応して黒松林から特老ホーム間を整備した。また、箕面市境界の散策路は、通行可能な状況に整備した。

(1)安全に作業ができる環境の整備
スズメバチに刺される災害と作業道を踏み外す災害が発生した。落ち葉で足を滑らすハットヒヤリを経験した参加者もいた。作業者が高齢であり安全に活動できる環境整備を継続する。

(2)竹林の整備（特に若竹の伐採）
若竹の時期は、温暖化の影響もあり1週間程度早くなってきている。4月に時期を早めて伐採を実施した。雨天中止で残った若竹が成竹となった箇所が見られる。

(3)島熊山自生植物（希少種調査など）
希少種保護の保護杭更新は、雨天中止により出来ていない。豊島高校横の崖崩補修箇所は、オカトラノオの定着と拡大が見られた。キンラン、ギンラン、ササユリ、ナンバンキセル、オケラを保護した。

(4)道具と装備
強度のある作業用手袋と靴から膝までカバーする足カバーを購入し、消耗品として個人支給した。また、竹の枝払いに大枝切り用ハサミを使用した作業効果を確認した。

『森の手入れ班』2024年　活動計画書

主な計画内容

1.『森の手入れ』作業の活動日は、毎月（８月を除く）第２週日曜日とする。
　若竹整備は、３月第５週、４月第１週、第４週に実施する。活動時間は、午前中(10時から12時30分）とする。

(1)自然観察路および観察路周辺の林内整備（地割れ陥没箇所は注意を払い通行）
　・観察路の補修と観察路周辺の小木間伐をする。秋には小学校観察会の自然観察対応の整備をする。
　・特老ホーム奥から広がる葛を刈込し、観察路は落ち葉清掃により滑落防止を図り安全を確保する。

(2)竹林内整備
　・竹は、指定した長さに切り揃え、切り株を利用した積み上げ、良好な竹林景観を形成する。
　・住宅地から竹林を見て整備された姿になるように折れた竹・倒れている竹を伐採する。
　・竹が密になっている箇所を重点的に伐採して竹を間引く。

(3)島熊山総点検
　・観察路等を歩いて、ナラ枯れ、松枯れ、葛の繁茂状況等から、「森の手入れ」活動の現状を確認する。

(4)希少種保護
　・希少種保護は、落ち葉の除去、保護杭の設置・更新など定例月の活動内で実施する。
　・キンラン、ギンラン、ササユリ、ナンバンキセル、オケラ、オカトラノオ、コクラン、シュンラン、ヒヨドリバナ

2.　活動にあたっての配慮事項

(1)第３日曜日の『清掃ハイキング』開催日は、参加者人数を見て『森の手入れ』の作業をお願いする。
(2)道路側に倒れる範囲の竹伐採は、補助ロープによる固定と、交通整理により通行車両の安全を確保する。
(3)スズメバチ活動時期は、白色系の服装を着用し、スズメバチ遭遇時はすみやかに作業場所を変更する。
(4)貸与作業道具の手入れは貸与者各自でする。効果のある作業道具は新規購入で貸与する。

作業日	作業内容	備考
2024年1月14日(日)	・「島熊山の雑木林を守る会」総会	・「2023年」活動報告と「2024年」活動計画
2024年2月11日(日)	・観察路（特老ホーム奥の葛刈）	・特老ホーム奥の観察路周辺の葛の刈込整備
2024年3月10日(日)	・基地から新御堂側 奥の院まで	・新御堂側の折れた竹・枯れた竹の伐採整備
2024年3月31日(日)	・竹林整備（若竹伐採）	・若竹伐採(午前中作業)
2024年4月7日(日)	・竹林整備（若竹伐採）	・若竹伐採(午前中作業)
2024年4月14日(日)	・基地から新御堂側 奥の院まで	・新御堂側竹林内のササ刈り、若竹伐採
2024年4月28日(日)	・竹林整備（若竹伐採）	・若竹伐採(午前中作業)
2024年5月12日(日)	・島熊山総点検の実施	・道路と観察路から島熊山を確認、希少種箇所確認
2024年6月9日(日)	・箕面市境界の尾根道	・観察路（箕面市境界の竹伐採、ササ刈り、雑木整理）
2024年7月14日(日)	・御堂筋側から基地に向け林内整備	・新御堂側の小木間伐・ササ刈り整備
2024年9月8日(日)	・観察路整備（基地から黒松林）	・観察路（基地から黒松林）の小木間伐・ササ刈り整備
2024年10月13日(日)	・観察路整備（観察会対応①）	・ササ刈りと雑木整備による観察路整備（観察会対応）
2024年11月10日(日)	・観察路整備（観察会対応②）	・観察路（基地から黒松林）の小木間伐・ササ刈り整備
2024年12月8日(日)	・新御堂側から基地にかけて整備	・基地周辺の刈残し場所の整備（雑木・笹・ススキ）
2025年1月12日(日)	・「島熊山の雑木林を守る会」総会	・「2024年」活動報告と「2025年」活動計画

（注）作業内容は、雨天中止や作業の進捗状況により変更することがあります。

1.　2023年　清掃ハイキング活動報告

2024.1.14　松田淳二

実施日	天候	参加人数	回収ゴミ					報告者（敬称略）通信記事	備　考
			カン	ビン	ペットボトル	ゴミ袋（可燃・不燃）	その他		
1月15日	曇	14	15	1	4	2	ドライブレコーダー	小泉（昌）	雑木林生態観察希望者2名参加。
2月19日	雨	14	17	1	4	2		小泉（清）	くず伐採も実施。雨のため早めの解散。
3月19日	晴	14	15	2	4	2		西川	くず伐採も実施。
4月16日	曇	15	10	0	6	2		松田	新会員2名加入。若竹伐採も実施。
5月21日	晴	13	12	1	1	5		易	新会員1名加入。オオキンケイギクの駆除も実施（3袋）。
6月18日	晴	19	5	1	2	2		相良	新会員2名加入。オカトラノヲ群生地の笹狩り。市業者草刈り後のためゴミ少な目。
7月16日	晴	17	3	2		3		西川	空ペットボトルの多数詰まったポリ袋を回収。南側観察路沿いの草刈り実施。
8月		お休み							
9月17日	晴	16	5	3	4	2	芝刈り機の歯	成田	
10月15日	晴	24	14	0	6	2		小泉（昌）	竹及びくずの伐採作業も実施。
11月19日	晴	17	6	0	5	2		木村	市業者草刈り後のためゴミ少な目。
12月17日	晴	14	8	0	2	2		松田	側溝の落葉や土砂の除去。希少種の囲い用竹串作り。
合計		177	110	11	38	26			昨年の実績：カン（133）、ﾋﾞﾝ（15）、ペットボトル（65）

◆　参加者延人数（含モニ1000担当）、177人（昨年162人）。月平均、16.1人で、昨年を超える参加者により清掃活動を行うことができました。
　ゴミ回収量は、昨年と比べて大幅な減少になりました。（合計欄の備考参照）
　森の手入れ作業が雨天のため実施できない月が重なったことから、林床作業にも労力を振り向けました。
◆　陥没地の定点観測値に5㎜前後の差があるものの誤差の範囲と考えられ、おおむね変化は見られませんでした。（次頁参照）